

## 2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月14日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東  
 コード番号 4576 URL <http://www.dwti.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務管理部長 (氏名) 川上 哲也 (TEL) 052-218-8785  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	451	119.4	107	—	99	—	119	—
2018年12月期第3四半期	205	6.9	△599	—	△605	—	△568	—

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 98百万円 (—%) 2018年12月期第3四半期 △604百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	4.57	—
2018年12月期第3四半期	△21.65	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	1,994	1,398	69.2
2018年12月期	2,073	1,300	60.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 1,379百万円 2018年12月期 1,259百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500	70.7	30	—	20	—	60	—	2.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	26,275,200株	2018年12月期	26,275,200株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	－株	2018年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	26,275,200株	2018年12月期3Q	26,267,262株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、景気は緩やかな回復傾向となりました。一方で、通商問題を巡る緊張の高まりが世界経済に影響を及ぼす懸念があり、先行きは不透明な状況が続いております。

国内医薬品業界におきましては、医薬品使用量は増加傾向にあるものの、薬価引下げや後発医薬品への切り替えの加速等が進み、国内の事業環境は厳しさを増しております。各社はパイプライン拡充や他社との協業等、競争力強化に向けた取り組みを進めております。

このような状況の下、当社グループは新薬の継続的な創出とパイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

自社創製品につきましては、「グラナテック®点眼液0.4%（一般名：リパスジル塩酸塩水和物、開発コード：K-115、ライセンスアウト先：興和株式会社（以下、「興和」））（以下、「グラナテック」）」が緑内障・高眼圧症を適応症として国内上市されており、販売状況は順調に推移しております。海外については、2月に韓国における輸入薬許可（日本における製造販売承認に相当）を取得されました。さらに、8月に同剤の有効成分であるリパスジル塩酸塩水和物について、角膜内皮障害（フックス角膜内皮変性症）を適応症とした米国第Ⅱ相臨床試験のIND申請（治験許可申請）が行われました（開発コード：K-321）。また、「H-1129（WP-1303）（ライセンスアウト先：わかもと製薬株式会社（以下、「わかもと製薬」））」の緑内障・高眼圧症を適応症とした国内第Ⅲ相臨床試験が1月に開始されておりましたが、長期投与時の安全性が懸念されたことから、9月に開発中止が決定されました。これにより、当社も「H-1129」の海外におけるライセンスアウト活動を終了いたしました。なお、緑内障治療剤「H-1337」については、継続してライセンスアウト活動を進めております。

導入品につきましては、「DW-1002」の欧州等で上市済みの製品（製品名：ILM-Blue®、MembraneBlue-Dual®、適応症：内境界膜剥離、ライセンスアウト先：Dutch Ophthalmic Research Center International B.V.（以下、「DORC」））の販売状況は順調に推移しております。また、同剤の日本（適応症：白内障手術）については、2月にわかもと製薬にライセンスアウトいたしました。さらに、同剤の米国（製品名：TissueBlue™、適応症：内境界膜剥離）については、4月にDORCによって承認申請が行われ、10月にはカナダについても承認申請が行われました。

研究開発プロジェクトにつきましては、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにおいて、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動を行い、また、他社との共同研究を推進いたしました。

売上高につきましては、「グラナテック」、「DW-1002」のロイヤリティ収入、「H-1129（WP-1303）」のマイルストーン収入及び「DW-1002（白内障手術）」のライセンスアウトによる契約一時金の受領等により、合計451百万円（前年同期比119.4%増）を計上し、売上原価に16百万円（前年同期比64.2%増）を計上しました。

販売費及び一般管理費につきましては、328百万円（前年同期比58.7%減）となりました。その内訳は、研究開発費が181百万円（前年同期比69.2%減、前期は「H-1337」の米国臨床試験を実施）、その他販売費及び一般管理費がコスト削減施策の効果等により、147百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

これらにより、営業利益は107百万円（前年同期営業損失599百万円）となりました。また、営業外費用に支払利息4百万円及び為替相場の変動による為替差損3百万円を計上したこと等の結果、経常利益は99百万円（前年同期経常損失605百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は119百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失568百万円）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下の通りです。

## (イ) 自社創製品

開発コード等		対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先／ 開発コード
リパスジル 塩酸塩水和物	グラナテック	緑内障・高眼圧症	上市	日本	興和／K-115
			承認	韓国	
	K-321	角膜内皮障害 (フックス角膜内皮変性症)	第Ⅱ相臨床試験	米国	興和／K-321
H-1129		緑内障・高眼圧症	第Ⅲ相臨床試験中止	日本	わかもと製薬 ／WP-1303
H-1337		緑内障・高眼圧症	第Ⅰ相/前期第Ⅱ相 臨床試験	米国	自社開発
K-134（注1）		—	—	日本	興和／K-134

（注1）ライセンスアウト先の興和により、閉塞性動脈硬化症以外の適応症への応用を検討されているため、対象疾患と開発段階は記載しておりません。

（ロ）導入品

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先/ 開発コード	起源
DW-1002	内境界膜剥離	上市	欧州	DORC	国立大学法人 九州大学
	内境界膜剥離	申請	米国	DORC	
	内境界膜剥離	申請	カナダ (注2)	DORC	
	内境界膜染色	第Ⅲ相臨床試験	日本	わかもと製薬 /WP-1108	
	白内障手術	第Ⅲ相臨床試験	日本	わかもと製薬 /WP-1108	
眼科用鎮痛剤	眼の手術後疼痛	臨床試験準備中	日本	自社開発	英国企業
未熟児網膜症治療薬	未熟児網膜症	臨床試験準備中	日本	JIT開発	国立大学法人 東京農工大学

（注2）10月10日付で承認申請が行われました。

（ハ）研究開発プロジェクト

開発コード等	対象とする疾患等	開発段階
シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト	眼科関連疾患、神経、循環器、呼吸器系疾患	基礎研究

（2）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末から79百万円減少し、1,994百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から46百万円減少し、1,717百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が66百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末から33百万円減少し、276百万円となりました。主な要因は、契約関連無形資産が30百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末から177百万円減少し、595百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から86百万円減少し、181百万円となりました。主な要因は、DW-1002（白内障手術）のライセンスアウトにより、マイルストーンを支払ったこと等の結果、未払金が110百万円減少したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末から91百万円減少し、414百万円となりました。主な要因は、長期借入金で90百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末から98百万円増加し、1,398百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が119百万円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は69.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2019年3月28日に公表いたしました「当社株式の業績基準に係る猶予期間入りに関するお知らせ」のとおりに上場廃止に係る猶予期間入り銘柄となりましたが、2019年12月期の通期連結業績予想につきましては、2019年2月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。2019年度の業績予想は黒字化を予想しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,584,282	1,518,005
売掛金	70,706	118,620
貯蔵品	59,475	58,631
その他	49,992	22,680
流動資産合計	1,764,457	1,717,937
固定資産		
有形固定資産	4,825	3,321
無形固定資産		
契約関連無形資産	287,999	257,142
その他	3,944	3,276
無形固定資産合計	291,944	260,419
投資その他の資産	12,527	12,527
固定資産合計	309,296	276,268
資産合計	2,073,753	1,994,205
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	—	7,960
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,000
未払金	130,375	19,377
未払法人税等	2,736	1,909
その他	15,190	32,430
流動負債合計	268,302	181,678
固定負債		
長期借入金	480,000	390,000
その他	25,350	24,000
固定負債合計	505,350	414,000
負債合計	773,652	595,678
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	34,762	34,762
資本剰余金	2,133,478	2,133,478
利益剰余金	△908,379	△788,430
株主資本合計	1,259,861	1,379,810
非支配株主持分	40,239	18,716
純資産合計	1,300,101	1,398,527
負債純資産合計	2,073,753	1,994,205

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	205,930	451,815
売上原価	9,768	16,044
売上総利益	196,161	435,770
販売費及び一般管理費		
研究開発費	588,694	181,260
その他	206,704	147,177
販売費及び一般管理費合計	795,398	328,437
営業利益又は営業損失(△)	△599,236	107,333
営業外収益		
受取利息	81	152
補助金収入	367	367
その他	150	50
営業外収益合計	598	569
営業外費用		
支払利息	4,756	4,513
為替差損	1,147	3,766
その他	864	0
営業外費用合計	6,769	8,280
経常利益又は経常損失(△)	△605,407	99,622
特別利益		
新株予約権戻入益	1,657	—
特別利益合計	1,657	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△603,749	99,622
法人税、住民税及び事業税	1,175	1,196
法人税等合計	1,175	1,196
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△604,924	98,426
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△36,270	△21,522
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△568,654	119,949

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△604,924	98,426
四半期包括利益	△604,924	98,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△568,654	119,949
非支配株主に係る四半期包括利益	△36,270	△21,522



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
減価償却費	37,009千円	33,028千円

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)  
当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)  
当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。